

かわさき アートニュース

Vol. **269**
2018年11月号

THE KAWASAKI FOUNDATION

CONTENTS [目次]

04 | 音楽 ミューザ川崎シンフォニーホール

07 | 歴史・文化 東海道かわさき宿交流館

08 | イベントレビュー

09 | 美術

COLORS
KAWASAKI

Colors かわさき展

未来へ向け色とりどりのアートが花咲く

10 | 美術 市内ギャラリー情報

13 | 演劇 アルテリオ小劇場

14 | 映画 アルテリオ映像館

02 | 特集 パラアート推進モデル事業
「手話歌でつながろう」

インタビュー: tomosukeさん(手話歌コーディネーター)



パラアート推進モデル事業「手話歌でつながろう」

インタビュー／tomosukeさん(手話歌コーディネーター)



川崎市と公益財団法人川崎市文化財団では、障がいの有無に関わらず文化芸術に親しむことができる機会を創出する「パラアート推進モデル事業」に取り組んでいます。その一環として、市立川崎総合科学高等学校の吹奏楽部・ボランティア部・合唱部の生徒が「歌詞の意味を手で届ける「手話歌」」を体験・発表するという企画が、今年8月にスタートしました。

今回は、企画講師を務めていただいている手話歌コーディネーター・tomosukeさんにお話を伺いました。

——高校生に手話歌を教えることについて、依頼があったときのご心境は？

びっくりしましたね。(笑)高校生に、そして45名に教えられるのか不安でしたが、自分への挑戦としてお引き受けしました。結果として、高校生が手話や手話歌に興味を持つ入り口になっていると感じています。指導では、良いところを褒めた上で、気を付けてほしいところを伝えるよう意識しています。みんなの成長を垣間見れるのはすごく楽しいですね。

後天性の聴覚障がい

——tomosukeさんについて教えてください。



僕は横浜で生まれ、新潟で育ちました。2歳のとき、おたふく風邪で耳が聞こえなくなり、小学校に入学するまでは聾学校の幼稚部に、小中高校は普通の学校に通いました。本格的に手話を身に付けたのは20歳からでしたので、遅咲きでしたね。(笑)

——普通の学校だと大変なことが多かったのでは？

人によって口の開き具合が小さい人や早口な人もいるので、会話や授業について行くのが大変でした。筆談をお願いしたり、簡単な指文字(「あ」から「ん」までの五十音を指で表現したもの)を友達に覚えてもらったり。授業中にこっそり友達と指文字で会話していたことは、今でも懐かしい思い出です!(笑)

なぜだか英語と古文はすごく得意でした。英文、古文には翻訳する作業がありますよね。「内容を理解して翻訳する」という過程は、「歌詞を解釈して手話をつける」のと似てるので、今やっている活動とつながっている感じがしています。

珍しい手話歌

——その作業について、一般的な手話歌は歌詞を“そのまま”手話にしますが、tomosukeさんの場合は歌詞を“解釈して”手話にされていますね。

なぜ、そのやり方になったかという、歌詞には意味があやふやな部分が割と多い

と感じるからです。聞こえない人は、歌詞の内容を見て好き嫌いに分かれがちかなと。僕は、まず歌詞を見て「この歌詞にはどういう意味があるんだろう」と考えるのが得意なので、そうした疑問の積み重ねから、「歌詞に込められた“伝えたい言葉”や“背景”“感情”を読み取って手話で表現したら、より歌が伝わりやすくなるんじゃないか」と考えました。

例えば、今回高校生と取り組む合唱曲『ともだちはいいもんだ』は、「大切な友達」をテーマにして想像を膨らませ、「友達を想う気持ち」に紐づいて表現しました。高校生にも、自分の友達への想いと重ね合わせながら、歌ってもらうようにしています。

「もともとある歌詞」と「表現する手話」が少し異なる(※)ので、初めは混乱する方もいらっしゃると思いますが、慣れてくると「面白い」と言ってくれる方が多いです。僕の手話歌を通して、聞こえない人は歌詞だけを見て判断せずに、また、聞こえる人はなんとなく聞き流さずに、歌詞の裏に込められた想いを感じてもらえたらと思います。

手話で歌うための地道な努力とは

——どうやって曲に合わせて手話をされているんですか？

僕は補聴器をしていてもほとんど聞こえないので、リズムを理解するのに時間がかかります。まずは動画でアーティストの口の形を見ることでリズムを掴み、手話を入れるタイミ

※例)『ともだちはいいもんだ』

作詞：岩谷時子／作曲：三木たかし

【歌詞】ともだちはいいもんだ

【解釈した手話】(キミ)(自分)(友)(なれる)
(幸せ)胸に手を当てる動作

【歌詞】目と目で物が言えるんだ

【解釈した手話】(見る)(だけ)(お互い)
(知る)(心)(つながる)

プロフィール

tomosuke

都内を拠点に、手話歌コーディネーターとして、俳優やアーティストへの指導や育成を行う他、2012年に手話歌レッスン開講、2016年から手話歌の真髄を研究した「手話うた研修会」を主催。「歌詞に込められた想いとは？」を探り、個々の感受性を豊かにさせ、手話歌を通して健聴者と聴覚障がい者の架け橋を作り、社会貢献に尽力。コヤマドライビングスクール主催チャリティイベント『D'LIVE』では、vol.3より出演し、今年で12年連続出演を果たす他、ユニットへの手話歌指導、イベントアドバイザー、プロデュースのサポートを行う等、多岐に渡って活動を展開。ゆくゆくは拠点を地方に移し、手話の理解促進を図る。2019年には青森・新潟・名古屋・福岡での講演が予定されている。医療福祉エンターテインメントNPO法人Ubdobe「THE UNIVERSE」メンバーとして活躍中。http://ubdobe.jp/news/6345.php



過去の「D'LIVE」でのパフォーマンス



表情豊かに練習する生徒たち

ングを確認します。その後、聞こえる人に細かいところを修正してもらい、また自主練習を繰り返します。歌い出しや間奏を把握することも大事なので、ソロで歌うときは、本番の目の前に「カウントを教えてください人」がいます。大体の歌は解釈から練習まで1〜2週間で出来ませんが、例えば『ハナミズキ』という曲は、歌詞もリズムも難しく3か月くらいかかりました。

憧れのライブで ダンスと手話歌に出会う

——手話歌に出会われたきっかけは、コヤマドライビングスクールさんが主催する手話歌&手話ダンスのエンターテインメントライブ「D'LIVE」だとお聞きしました。

D'LIVEは、聞こえない人が主体となって輝ける場所で、初めて観たときは「聞こえない人が踊ってる!歌ってる!どうやって!?!」と感動したのを覚えています。そのとき出演していた女性ダンサーの方とたまたま仲良くなり、本格的にダンスに取り組むようになりました。しばらくして、厚かましくもその女性に「一緒にD'LIVEに出てくれませんか」と話したところ、「あなたはまだ無名だし、早いのでは。私にはプライドがある。一緒に踊りたかったら、まずは知名度を上げてからだね」とあっさりと断られました。でも、「いつか絶対にこの人と踊りたい」と努力し、3年後にようやく叶ったときは「この人は僕がこれまでやって

きたことをちゃんと見てくれていたんだな」と、とても嬉しかったですね。

さらに、D'LIVEで「パフォーマンスに手話を取り入れる試み」が始まったことがきっかけで、手話歌に初挑戦しました。全く自信がありませんでしたが、「あの表現が綺麗だった」「感動した」など声をいただき、もっと手話歌をやってみようと思ったんです。今では「tomosukeさんと一緒に出たい」と言っていただくことも増えて、とても嬉しいです。

表情も声になる

——昨年のD'LIVEでのパフォーマンスは、感情のこもった表情がとても印象的でした。

表情は手話の一部であり、聞こえない人にとって大切な“声”になります。今年のD'LIVEでも、僕が初めて観たときと同じように、今度は僕から観ている人に夢を与えられるよう、初心を忘れず最高のパフォーマンスをしたいと思いますので、ぜひ楽しみにしてください。

高校生のみんなにも、しっかり前を向いて表情を大切に歌えるようになってもらうことが目標です。11月のシンポジウムでのコンサートまで練習を重ね、自信をつけていきたいですね。

共に助け合う場を広げたい

——5年前から都内で開講されている「手話歌レッスン」について教えてください。

聞こえない人や手話を覚えたい人などいろいろな方が集まって、解釈作業から発表まで取り組んでいます。聞こえる人が聞こえない人に曲のリズムを教えたり、反対に聞こえない人が聞こえる人に手話を教えたりと、自然に助け合いの架け橋が生まれています。そうした場を提供することも目的のひとつですね。先日、初めて地元の新潟でも手話歌を教える機会をいただいたので、今後は活動の場を広げ、全国から依頼があればどこでもお伺いしたいです。(笑)

努力の末に芽生えた存在意義

——「耳が聞こえない方」や「手話とは縁遠い方」へメッセージをお願いします。

僕自身、手話や手話歌を始めたことがきっかけで様々な活動につながり、存在意義を確立できたと思っています。たまに「自分の知名度を上げるにはどうしたらいいですか?」と質問されることがありますが、僕は「努力あるのみ」と答えています。ただ待っているだけでは何も変わりません。自分の中で計画を立て目標に向かって努力していれば、きっと知名度は上がるというか。ただし「それには時間がかかる。僕だってそもそも無名だったんだからね!」と言っています。(笑)

また、手話とは縁遠い方は、きっかけがなければなのかなという気はするんですよね。いつかどこかで手話を見て「自分もあんな風に話してみたい!」という日がくると思うので、それまで楽しみに待っています!

川崎総合科学高等学校インタビュー

tomosukeさんは耳が聞こえなくても明るくて、はっきりしゃべってくださいます。手話は知らない言葉なので初めは戸惑いましたが、今では曲のイメージを手話で表現できるのが楽しいです。歌詞がなくても音楽で気持ちを伝えるのは僕たち吹奏楽部も一緒なので、観ている人にしっかりと想いを伝えられるようみんなで力を合わせて頑張ります! (吹奏楽部3年生 芦間 陸さん)

高校生のうちに、友達の大切さや「一人では生きていけないだよ」ということを改めて感じてほしいと思い、この曲を選びました。手話だと、歌うとき以上に意味を考えますね。本当にいい経験をさせていただいています。一人では小さな力でも、みんなが集まると大きな力になる、生徒たちには結果以上にそうした過程を実感してもらいたいです。(吹奏楽部顧問 長谷川 剛士先生)

手話歌を観に行こう

シンポジウム「アートで広がる多様なつながり」オープニングコンサート

2018年11月18日(日)13:30開演(シンポジウムは16:00終演予定)

川崎総合科学高等学校吹奏楽部・ボランティア部・合唱部の皆さんが、練習してきた手話歌を披露します。tomosukeさんによるアフタートークも予定。

主催:川崎市 会場:ミュージア川崎シンフォニーホール4F 市民交流室

定員:先着100名(要事前申込/10月15日受付開始) 参加費:無料

参加申込・お問い合わせ:川崎市民文化振興室 TEL 044-200-3170

※シンポジウムは、同じ「パラアート推進モデル事業」の1つである「Colors かわさき展」(P9参照)の関連事業です。

コヤマドライビングスクールチャリティーコンサート D'LIVE vol.15

2018年12月1日(土)17:00開演 20:00終演予定

聴覚障がい者アーティストたちによる大人気手話エンターテインメント・ライブ!

主催:株式会社コヤマドライビングスクール

会場:CLUB CITTA'(ラ チッタデッラ内 / 川崎駅東口から徒歩5分)

料金:全席指定 S席3,000円、A席2,500円*どちらも1drink付

お問い合わせ:D'LIVE事務局 TEL 03-5459-8815

ミューザ川崎シンフォニーホール おすすめ公演情報



ジョナサン・ノット

**好評
発売中**

**ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団
名曲全集第143回**

無伴奏フルートのための「密度21.5」(初演時のプラチナ製フルートの単位体積の重さが約21.5gに由来)に始まるこのコンサート。アルト・フルートによる静寂のソロに始まり、ニューヨークの街を音で描いた「アメリカ」はサイレンを含む大編成のオーケストラによるダイナミック・レンジの広い音の世界を味わえる作品。後半はマエストロが主要なレパートリーとするR.シュトラウスの「英雄の生涯」をご堪能ください。

【日時】 12月16日(日) 14:00開演

【出演】 指揮: ジョナサン・ノット
フルート: 甲藤さち(東京交響楽団首席奏者)

【曲目】 ヴァレーズ: 密度21.5(無伴奏フルートのための)
ヴァレーズ: アメリカ(1927年改訂版)
R.シュトラウス: 交響詩「英雄の生涯」

【チケット】 S席7,000円 A席6,000円
B席4,000円 C席3,000円



甲藤さち

**MUZAパイプオルガン
クリスマス・コンサート2018**

～言葉と音楽で彩るファンタジー～

ヴァン・ダイクのクリスマス朗読劇「もう一人の博士」

アメリカのクリスマス劇として古くから親しまれている名作「もう一人の博士」を題材に日本を代表する演出家・宮城聡による監修、大岡淳による構成・演出の下、松居直美のオルガン、鈴木美紀子の歌唱、松岡あさひの作編曲、奥野晃士と宮城嶋遥加による朗読と劇により、言葉と音楽が重なり合いミューザいっばいに感動が降り注ぎます。

【日時】 12月22日(土) 14:00開演

【出演】 オルガン: 松居直美 ソプラノ: 鈴木美紀子
俳優: 奥野晃士、宮城嶋遥加(SPAC-静岡県舞台芸術センター所属)

【作曲・編曲】 松岡あさひ

【監修】 宮城 聡(SPAC-静岡県舞台芸術センター芸術総監督)

【構成・演出】 大岡 淳(SPAC-静岡県舞台芸術センター所属)

【原作】 ヘンリー・ヴァン・ダイク(訳: 岡田 尚 新教出版社刊)

【曲目】 J.S.バッハ: 「高き天よりわれらは来たり」によるカノン風変奏曲
D.ブクステフーデ: 暁の星のいと美しきかな
B.ブリテン: 鳥たち、J.ラター: ある木に咲いた花、松岡あさひ: 新曲初演 ほか

【チケット】 全席指定3,500円 U25(小学生～25歳)1,000円

**好評
発売中**





松居直美

2019年1月15日～6月30日 ミューザ川崎シンフォニーホール休館のお知らせ 上記期間中、音楽ホールは改修工事のため休館いたします。

期間中は、一部公演を「カルッツかわさき」に移動して開催するほか、市民交流室でのレクチャー & コンサート、川崎市市内での特別コンサート等を企画中です。どうぞお楽しみに。
(注) 音楽工房(市民交流室、企画展示室、会議室、研修室、練習室)は改修期間中もこれまで同様ご利用いただけます。
施設利用に関するお問合せ: 044-520-0300(9:00～19:00)

MUZAジルベスター
コンサート2018

MUZA SILVESTER CONCERT 2018



福井 晶一 (Vo.)



吉沢 梨絵 (Vo.)



笠松 はる (Vo.)



上原理生 (Vo.)



絢爛豪華な大晦日

〔管弦楽〕東京交響楽団 〔コーラス〕昭和音楽大学・洗足学園音楽大学 〔演出〕原 純

J. シュトラウスⅡ：喜歌劇「こうもり」序曲
レ・ミゼラブル / オペラ座の怪人 / ノートルダムの鐘 ほか

秋山和慶(指揮)

2018.12.31 (月) 開演15:00 (14:15開場/17:15終演予定) ミューザ川崎シンフォニーホール

主催・お問合せ：ミューザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ) TEL:044-520-0200 チケット料金：S ¥7,000 | A ¥6,000 | B ¥5,000 | C ¥4,000

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL
MUZA ジルベスター 検索

beyond
2020

11月 2018年

ミュージア川崎
シンフォニーホール
MUZA Kawasaki Symphony Hall Concert Calendar

「11月の催し」

*チケット料金、残席情報等は
各公演のお問い合わせ先まで
お尋ねください。

3 土祝
14:00開演

セキスイハイムpresents アシュケナーズ×辻井伸行 アシュケナーズ指揮 アイスランド交響楽団

指揮:ウラディーミル・アシュケナーズ ピアノ:辻井伸行 管弦楽:アイスランド交響楽団
セグルピョルソン:氷河のノクターン/ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番/ラフマニノフ:交響曲第2番

全席完売

お問合せ チケットスペース 03-3234-9999

4 日
13:30開演

横浜フィルハーモニー管弦楽団 第80回記念定期演奏会

指揮:田尻真高 管弦楽:横浜フィルハーモニー管弦楽団
モーツァルト:交響曲第41番「ジュピター」/マーラー:交響曲第5番

全席指定 前売券¥1,000/当日券¥1,000
当日券(65歳以上) ¥500

お問合せ 横浜フィルハーモニー管弦楽団事務局 080-5476-8223 チケット

6 火
12:10開演

JXTGエネルギー Presents MUZAランチャタイムコンサート 秋 ~マリンバの音色に包まれて~

マリンバ:藤澤仁奈 打楽器:新野将之
J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲 第1番 BWV1007から プレリユード/マルティニ:愛の喜び/加藤大輝:ラストダンス 他

全席自由 ¥500

お問合せ MUZA チケット

6 火
19:00開演

JXTGエネルギー Presents MUZAナイトコンサート60 秋 ~マリンバの音色に包まれて~

マリンバ:藤澤仁奈 打楽器:新野将之
J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲 第1番 BWV1007から プレリユード/マルティニ:愛の喜び/山田耕筈:赤とんぼ/加藤大輝:ラストダンス 他

SS指定席 ¥2,000/自由席 ¥1,000

お問合せ MUZA 友 チケット

*友の会割引はSS指定席のみ

10 土
14:00開演

ミュージア川崎レクチャーコンサート『白いうた 青いうた』の秘密 —その2—

新実徳英(作曲家)、秋山和慶(指揮者)、辻秀幸(合唱指揮者)、堀江真知子(ソプラノ)、澤原行正(テノール)、根来由実(ヴァイオリン)、山田武彦(ピアノ)、アルデバラン(コーラス)
新実徳英(作詞:谷川 潤):「白いうた 青いうた」より ぼくという名のひとり/砂よ/盲導犬/なまずのふろや/アルデバラン/恐竜広場/はたりもし/傘もなく/火の山の子守歌/南海讃 他
「白いうた 青いうた」ヴァイオリン・ソングブックより 落葉の舞/春/Gのギャロップ

全席自由 ¥3,000

お問合せ MUZA 友 チケット

メリー・ミュージス 03-3422-8477

10 土
18:30開演

東芝フィルハーモニー管弦楽団 第45回定期演奏会

指揮:河地良智 管弦楽:東芝フィルハーモニー管弦楽団
ヨハン・シュトラウス2世:喜歌劇「こもり」序曲/ロッシニ:歌劇「ウィリアム・テル」序曲/ファリャ:バレエ音楽「三角帽子」より抜粋

全席自由 ¥1,500

お問合せ 演奏会実行委員長 佐藤 チケット

080-5537-8596

11 日
14:00開演

ミュージア川崎シンフォニーホール&東京交響楽団 名曲全集 第142回 —アメリカに乾杯!—

指揮:原田慶太楼 ヴァイオリン:木嶋真優
ジョン・アダムズ:ショート・ライド・イン・ア・ファスト・マシーン/コルンゴルト:ヴァイオリン協奏曲/ドヴォルザーク:交響曲第8番

¥6,000 (A)¥5,000
B)¥4,000 C)¥3,000

お問合せ MUZA 友 東響 チケット

15 木
19:00開演

フランツ・ウェルザー＝メスト指揮 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

指揮:フランツ・ウェルザー＝メスト ヴァイオリン:フォルクハルト・シュタイデ チェロ:ペーテル・ソマダリ
ドヴォルザーク:序曲「謝肉祭」/ブラームス:ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲/ワーグナー:楽劇「神々の黄昏」~舞台祝祭劇「ニーベルングの指環」第3夜から抜粋(ウェルザー＝メスト編)

¥35,000 (A)¥30,000
B)売切C)売切D)売切

*1回のお申込みにつきおひとり様
4枚までご購入いただけます。

お問合せ MUZA チケット

16 金
19:00開演

かわさきジャズ2018 佐山雅弘 スペシャル・ピアノ・プロジェクト ジャズ・トライアングル ~The3Pianists

ピアノ:奥田弦、三船優子、佐山雅弘 ゲスト: HIDEBOH(タップダンス)、平野公崇(サクソ)、石田泰尚(ヴァイオリン)
ガーシュウィン特集~ サマータイム、ラブソフィー・イン・ブルー、魅惑のリズム チックコリア~ スペイン 他

18:20 ~ ジャズバー SAYAMA 今回は店主(佐山雅弘)に代わり、奥田弦によるロビーコンサートをお楽しみください。(リクエストなど受付予定)

¥5,000 (A)¥4,000 B)¥3,000
学生席 ¥1,500 (B席エリアのみ)

お問合せ
かわさきジャズ2018実行委員会事務局
044-223-8623(平日10:00~17:00) MUZA 友 チケット

17 土
14:00開演

MUSICエンジン 第六回演奏会

①13:00開場 14:00開演/②17:00開場 18:00開演
管弦楽:MUSIC ENGINE パイプオルガン:石丸由佳 曲目:幻想水滸伝IIより

¥6,000 (A)¥5,500 B)¥5,000

お問合せ MUSICエンジン(西田) チケット

090-8490-6070

18 日
17:00開演

かわさきジャズ2018 デイヴ・グルーシン ビッグ・バンド ウェストサイド物語 ~バーンスタイン生誕100年特別プロジェクト~

指揮:ピアノ/キーボード:デイヴ・グルーシン ギター:リー・リトナー キーボード/シンセサイザー:ジョン・ビーズリー
ベース:トム・ケネディ ドラムス:ジャン・ポール・ホッホシュタッター サクソフォン/クラリネット/フルート:ボブ・シェパード
サクソフォン:本田雅人、近藤淳、小池修、庵原良司 トランペット:エリック・ミヤシロ、奥村晶、佐久間勲
トロンボーン:村田陽一、鹿討奏、中川英二郎、山城純子 パーカッション:三沢まろろ

¥9,000 (A)¥7,500 B)¥6,000
学生席 ¥3,000 (B席エリアのみ)

お問合せ
かわさきジャズ2018実行委員会事務局
044-223-8623(平日10:00~17:00) MUZA 友 チケット

19 月
公演予定

23 金祝
13:30開演

ミュージア川崎ホリデーアフタヌーンコンサート2018後期「超絶!ヤヴォルカイ兄弟!」シャンドル&アダム・ヤヴォルカイ

ヴァイオリン:シャンドル・ヤヴォルカイ チェロ:アダム・ヤヴォルカイ ピアノ:サンドロ・クトゥレーロ
ヴィヴァルディ:四季より「冬」、「夏」/ハチャトゥリアン:剣の舞/エルンスト:夏の名残のバラ」による変奏曲(庭の千草)/
サラサーテ:ツィゴイネルワイゼン/バガニーニ:24のカプリースより 第24番/リスト:ハンガリー狂詩曲第2番/ブラームス:ハンガリー舞曲第1番、第5番 他

全席指定 ¥3,900
舞台後方席 ¥2,500

お問合せ 神奈川芸術協会 045-453-5080 友 チケット

24 土
15:00開演

第9回 音楽大学オーケストラ・フェスティバル2018

東京藝術大学(指揮:梅田俊明) 武蔵野音楽大学(指揮:北原幸男)
バルトーク:管弦楽のための協奏曲(藝大) ベートーヴェン:交響曲第9番『合唱付き』(武蔵野)

全席指定 1回券¥1,000/通し券(全4公演) ¥3,000
※通し券はミュージア川崎シンフォニーホール、東京芸術劇場で窓口販売
及び電話予約、前売販売のみの取扱。

お問合せ MUZA チケット

25 日
18:00開演

マリス・ヤンソンス指揮 バイエルン放送交響楽団

指揮:マリス・ヤンソンス
ドヴォルザーク:交響曲第7番 /ストラヴィンスキー:バレエ音楽「春の祭典」

¥30,000 (A)¥25,000 B)売切 C)売切 D)売切
※1回のお申し込みにつきおひとり様4枚までご購入いただけます。

お問合せ MUZA チケット

MUZA マークの付いた公演はホール主催または共催です。ミュージア川崎シンフォニーホール(044-520-0200)までお問合せ下さい。また、託児サービスのご用意がございます(一部、例外のある公演もございます)。
東響 マークの付いた公演はTOKYO SYMPHONYチケットセンター(044-520-1511)でもご購入いただけます。
チケット マークの付いた公演は、ミュージア川崎シンフォニーホール・チケットセンターにてお取り扱いしております。
友 マークの付いた公演は、ホール友の会会員割引がございます。(セット券を除く) 残席状況はお問合せ下さい。売切れの際はご容赦下さい。

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

お問い合わせ:ミュージア川崎シンフォニーホールチケットセンター

Tel. 044-520-0200 (10:00-18:00)

ミュージア川崎シンフォニーホール

川崎市幸区大宮町1310 JR川崎駅中央西口直結

ミュージア 検索

詳しくはミュージア
webページをご覧ください。



東海道かわさき宿交流館

TOKAIDO KAWASAKI SHUKU KORYUKAN



休館日：毎週月曜日。月曜が祝日の場合は、翌日が休館。

街道講演会 街道歩きをもっと楽しむために

「縄文ロード」

～諏訪・八ヶ岳と多摩・武蔵野を結んだ古街道の謎～

諏訪・車山・八ヶ岳に広がっていた縄文文化圏と、多摩丘陵や武蔵野台地に広がっていた縄文文化圏。それらが同じ仲間・親戚関係にあったことが、土の中に遺された住居址や、土器・黒曜石・ヒスイなどから推測されています。この共通の文化圏の形は、ちょうど人間の顔の両眉を結ぶ形に似て、さらに中央の鼻の部分に富士山が位置することから「富士眉月弧」とも言われます。何千年もの間、関東山地から平野に下り、交流してきた縄文大街道の謎についてお話しします。(宮田)

日時：11月17日(土)14時開演(13時30分開場)

料金：無料 定員：80名(自由席・事前予約不要)

会場：東海道かわさき宿交流館4階 集会室

講師：宮田太郎(歴史古街道研究家)



宮田太郎(歴史古街道研究家)
総務省地域力創造アドバイザー
歴史シアター総合プロデューサー
(株)歴史シアター・ジャパン代表取締役
歴史古街道団・代表
NHK番組「趣味どきっ!」放送中
(11月14日、15日、21日、28日)

講談de交流

フレッシュで今時な講談師を激励し、一緒に精神を応援していきましょう。

今回は、前座 田辺凌天さん、二ツ目 一龍斎貞弥さんです。お楽しみに。

日時：11月21日(水)14時開演(13時30分開場)

料金：無料

定員：80名(自由席・事前予約不要)

会場：東海道かわさき宿交流館4階 集会室

出演者：前座 田辺凌天(りょうてん) 二ツ目 一龍斎貞弥(ていや)



田辺凌天



一龍斎貞弥

展示－宿場時代の川崎(2階)

江戸時代の川崎宿の歴史や当時の情報があります。
旅人の衣装を着て記念撮影もできます。



展示－江戸から現代へ(3階)

明治以降の川崎市の歴史や、ゆかりの人物などの展示があります。



貸館案内 4階の集会室は、ふれあいネット(川崎市公共施設利用予約システム)にて利用予約が必要です。

〒210-0001 川崎市川崎区本町1丁目8番地4

TEL.044-280-7321 FAX.044-280-7314

<http://www.kawasakishuku.jp/>

【アクセス】京急川崎駅より徒歩約6分、

JR川崎駅中央東口から徒歩約10分、北口東から徒歩約10分



第28回 夏休みな能楽体験教室・鑑賞教室



夏休みの3日間に、子どもから大人まで「能」に親しめる教室を開きました。毎年好評をいただいております、約150名の皆様にご参加いただきました。

1日目の「お話」では、能楽師・鶴澤久先生、光先生親子が、能の成り立ちや種類について説明。「美人を表すお面はどっち?」といったクイズもあり、基本的な理解を深めることができました。2日目の「体験」では、所作、仕舞、笛、小鼓、大鼓、太鼓を各15分ずつ体験。先生の「今日は“お稽古”です。しっかり真似をしてください。」という力強い言葉に、参加者もぐっと真剣な表情に変わるのが印象的でした。最終日「鑑賞」の演目は能『安達原』。「一瞬一瞬に込められた想いを感じ取ってほしい」という先生の願い通り、終演後は「鬼の気持ちを考えると、さびしい、悲しい劇だった。」「女は嵐に乗ってどこへ行ってしまったの?」など、想像豊かな声が挙がっていました。

【参加者の声より】

- 体験がとても楽しかった。鑑賞は少し難しかったけれど戦いの場面がとても迫力があつた。山伏の弟子が寝床を見ようとする場面がとても面白かった。(小6)
- 会場が満席で関心の高さがうかがえました。子供たちの質問も的を射ていて、前日の体験から多くを学んでいることが感じられました。(保護者)

(7月21・22・28日 川崎能楽堂)

「麦わら細工を作ろう」



「麦わら細工作ろう」という夏休み子ども向けイベントを開催しました。麦わら細工は、江戸時代の中頃に大森(大田区)から始まったといわれているもので、大森名物とされています。それが次第に川崎にも広まりました。

作り方の指導は、川崎の麦わら細工を広める市民活動団体「麦人の会」と、シルク博物館 学芸員の高橋典子さんをお願いしました。作ったのは「絵ハガキ」「馬」「虫かご」の3種類。親子で挑戦してもらいました。夏休みの自由研究にもなり、悪戦苦闘しながらもみんな一生懸命作っていました。麦わら作りを体

験して、楽しく作ることが出来たという感想が多かったです。

(7月31日、8月22日 東海道かわさき宿交流館)

「おんまち・みぞのくちライブ」 「カワサキストリートミュージックバトルスペシャル」



おんまち・みぞのくちライブは、毎月第三土曜日に溝の口にあるNOCTY2(マルイ)の2Fデッキで開催されるフリーライブで、音大生や市内の中・高等学校の吹奏楽部、合唱部、また市内で活動しているストリートミュージシャンが出演しています。8月18日は、市内外のストリートミュージシャンが出演する年一回の勝ち抜きコンテストイベント「カワサキストリートミュージックバトル」の第6回グランプリ「如月愛里」と第5回グランプリ「sources」が演奏しました。月の歌声を持つシンガーと称される如月愛里は、類い稀な透き通ったハイトーンボイスで、演奏が始まると行きかう多くの人々が足を止め、じっと聞き入っていました。自身の作詞による曲は、何気ない日々の中にある幸せがつつられていて、心温まるステージとなりました。

次に出演したsourcesは男性のツインバイオリンとピアノによるインストゥルメンタルのPOPSユニットで、演奏が始まる前からファンがステージ前に集まり、大変な人気でした。激しい曲からバラードまで情景が浮かぶサウンドが彼らの持ち味で、アップテンポの曲ではメンバー全員が会場狭しと動き回り、観客と一体となって盛り上がりしました。

今回は11月17日(土)の開催予定です。(雨天中止の場合があります)

(8月18日 おんまち・みぞのくちライブ)

第74回ラゾーナ納涼寄席

8月のラゾーナ寄席は特別に「納涼寄席」と銘打ち、涼しげな怪談話をお届けしました。

まず前座・三遊亭馬ん長さんの『浮世床』に始まり、親戚が川崎にお住まいという春風亭吉好さんによる『熊の皮』。ご自身の夫婦円満のコツから、夫が嫁の尻に敷かれる定番の落語噺の落ちまで、気持ちのいい流れでした。

続いての桂米多朗師匠は、「おじさん師匠」にあたる故・桂歌丸師匠との思い出話を語ってくださり、会場は温かな笑いで包まれました。歌丸師匠から最初に教わったという前座噺『道灌』では、「ばかばかしさの中にもうんちくもある」という歌丸師匠の味を感じさせる、歯切れのある話しぶりでした。



お待ちかねのトリは、講談師・神田陽子さんの怪談話。お化けの女王とも評される“お岩さん”が主人公の『四谷怪談』語りは、神田さんならではのほかなさと大胆さが光り、照明や効果音の演出も相まって、会場が異空間に変わったかのような臨場感でした。最後は明るく帰ってもらえるようにと、寄席の踊り「かっぱれ」で送り出してくださった神田さん、大満足の2時間でした。ラゾーナ寄席は毎月第3火曜日18時半開演、一般2,000円、高校生以下1,500円です。

(8月21日 ラゾーナ川崎プラザソル)

川崎信用金庫 Presents MUZAワインBAR ジャズで映画の名場面!



ミュザのホールのドリンクコーナーに座席をしつらえ、ワインを楽しみながら飛びきりの演奏を聴くこの企画、昨年の大好評を受け今年も開催いたしました。

映画音楽の名曲をジャズで聴く、ということで、大阪昌彦率いる東京キネマジャズトリオは「ひまわり」より愛のテーマ、チャップリンの名作「モダン・タイムス」よりスマイル、「ロシュフォールの恋人たち」よりYou must believe in Spring など、美味しい名旋律のア・ラ・カルトを次から次へ繰り出します。ソムリエがこの日のためにセレクトしたワインともよく調和し、熱量高い一夜となりました。

(9月11日 ミューザ川崎シンフォニーホール)

川崎競馬ジャズナイト



「かわさきジャズ2018」(11月8日～18日)のプレ企画として、川崎競馬場さんとコラボしたイベントがありました。レースの合間にジャズの生演奏が流れ、貴賓室ではジャズと食事を楽しむことができました。初めての試みに、今まで競馬場に足を運ぶことがなかったお客様の姿も多く見られました。『かわさきジャズに初音ミク登場!記念』(※)など工夫を凝らした冠名も楽しく、『A列車で行こう』などのスタンダードナンバーに変わった入場曲も「意外と合うね!」と大変好評でした。(9月14日 川崎競馬場)

※『佐藤充彦JAZZ BAND & VOCAL ENSEMBLE feat. 初音ミク&巡音ルカ』公演は11月11日(日) 16:00開演、会場はカルッツかわさきです。

約40名のアーティストと子どもたちが未来へ向けアートの花を咲かせます！

COLORS KAWASAKI



Colors かわさき展

未来へ向け色とりどりのアートが花咲く

2018年 11月16日(金) - 11月25日(日)

ミュージアム川崎シンフォニーホール 4F 企画展示室

開 場 時 間
10:00 ~ 18:00

入場無料

アクセス: 〒212-8557 川崎市幸区大宮町1310
JR川崎駅中央西口から徒歩3分 / 京急川崎駅から徒歩8分
ミュージアム川崎駐車場 TEL044-555-8691

参加アーティスト: 半澤真人 / 岡浩子 / 清井了支 / 小林祥平 / 関友里恵 / 宮本憲史朗 / 西川匠 / 伊藤一 / 杉本直樹 / 澁谷遊歩 / 小泉稔 / 戸崎健也 / 伊藤有里 / 勝田麻友美 / 佐藤啓子 / 荻野奈央 / 浜村啓子 / 岩崎有里 / 岡田隆之 / 伊藤信子 / 中村美津子 / 鶴沼ゆかり / 中道一輝 / 鈴木涼太郎 / 竹葉聖也 / 阿部堅太 / 中西春美 / 山内健資 / 平田貴子 / 関根利治 / 松本陽聖 / 土田樹 / 大谷恵里香 / 井上義男 / 長瀬明代 / 佐田智紀 / 山本健児 / 道田亮雄 / 池田誠 / 八木志基 / 川崎市立蟹江小学校 / 川崎市立田島支援学校高等部 / 川崎市立中央支援学校高等部・創作部 & 高等部分教室・文化部 / ドリーむ東小倉保育園きりん組 / ドリーむ保育園ひつじ組

主催: 川崎市 / 公益財団法人 川崎市文化財団 共催: 川崎市教育委員会 企画: studio FLAT 大平暁
協力: 社会福祉法人長尾福祉会セルブきたかせ / 社会福祉法人みのり会 / 社会福祉法人なごみ福祉会夢花工房 / 社会福祉法人ともかわさき たちばな / 社会福祉法人育桜福祉会川崎市北部身体障害者福祉会館 作業室 / アトリエ・パンパキ / NPO法人アトリエ言の葉 / アトリエグリーンアップル / studio FLAT / 川崎市立中央支援学校 / 川崎市立蟹江小学校 / 川崎市立田島支援学校 / ドリーむ保育園 / ドリーむ東小倉保育園 / アスク川崎西口保育園

【交流会】11月17日(土) 13:30~15:30 参加費:無料

展示作品の作者や来場者など様々な人とアートを通じてつながっていく機会になるような場を設けます。お気軽に参加ください。(事前申込不要)

【シンポジウム】11月18日(日) 13:30~16:00 参加費:無料

テーマ「アートで広がる多様なつながり」(事前申込必要)

会場: ミュージアム川崎シンフォニーホール4F市民交流室
シンポジウム参加申込・お問い合わせ先: 川崎市市民文化振興室
TEL044-200-3170

【ワークショップ】11月17日(土) 10:30~12:30 参加費:無料

ダンス講師: Rameesha 「アートを通して異文化体験」(事前申込不要)

アートやダンスのワークショップを通じて、障がいの有無や世代、国の垣根を超え、インクルーシブな体験をします。

内容: 太鼓を使ったダンス体験や感想を絵に描きます。

※当日先着15名程度

【ワークショップ】11月23日(金・祝) 13:00~15:00 参加費:無料

大藁一樹 「色紙で立体をつくらう」

山内健資 「リクエストでどうぶつを描く」

半澤真人 「工場画を描くライブペイント」



アートガーデンかわさき・市内ギャラリー・美術館等の展覧会情報

- 掲載情報は原則入場無料です。ただし、有料マークのある施設は入場料が必要な催し物の情報が含まれています。
- 各施設とも、催し物の内容・会期・料金等が変更になる場合がございますので、ご確認の上ご来館ください。 □=休館日

Event Calendar

2018.11

		1 Thu	2 Fri	3 Sat	4 Sun	5 Mon	6 Tue	7 Wed	8 Thu	9 Fri	10 Sat	11 Sun	12 Mon	13 Tue	14 Wed	15 Thu	16 Fri	17 Sat	18 Sun	19 Mon	20 Tue	21 Wed	22 Thu	23 Fri	24 Sat	25 Sun	26 Mon	27 Tue	28 Wed	29 Thu	30 Fri	12/1 Sat
アートガーデンかわさき(川崎区) 川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F TEL.200-1415 【休館日】毎週月曜日	第1展示室						創明会展 11月6日(火)～11日(日)						川崎区文化協会美術展 11月13日(火)～18日(日)								第67回 川崎市書道展 11月22日(木)～25日(日)						堀野書道学校 第10回選抜展 11月27日(火)～12月2日(日)					
	第2展示室	羽田フォトクラブ水曜会 10月30日(火)～11月4日(日)					なないろ似顔絵教室・ 七色お絵描き教室・水彩画教室 合同作品展 11月6日(火)～11日(日)																									
	第3展示室	日本冶金OB会美術展 10月30日(火)～11月4日(日)																														
川崎市教育文化会館市民ギャラリー(川崎区) 川崎区富士見2-1-3 TEL. 233-6361 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)																				川崎区社協福祉まつり 11月29日(木)～12月6日(木)												
幸市民館市民ギャラリー(幸区) 幸区戸手本町1-11-2(幸文化センター内) TEL. 541-3910 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		第39回幸区文化祭 11月3日(土・祝)～4日(日)					H30 みゆき水彩 作品展 11月9日(金)～14日(水)					幸区認可保育所年長児作品展 11月16日(金)～21日(水)※19日休館																				
ミュージア川崎シンフォニーホール 4F企画展示室(幸区) 幸区大宮町1310 TEL.520-0300 【休館日】11/12(月)															Colors かわさき展 未来へ向け色とりどりのアートが花咲く 11月16日(金)～25日(日)																	
中原市民館市民ギャラリー(中原区) 中原区新丸子東3-1100-12 パークシティ武蔵小杉ミッドスカイトワー1、2階 TEL. 433-7773 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		お散歩会 陽気な仲間たちわくわくいっぽ♪写真展 11月2日(金)～7日(水)					アトリエ・キューキュー作品展 Vol.3 11月9日(金)～12日(月)					小原流川崎支部 みんなの花展 11月17日(土)～18日(日)					パーク水彩会展(新川崎) 11月23日(金・祝)～28日(水)					写真友の会写真展 花に誘われて 11月30日(金)～12月5日(水)										
川崎市市民ミュージアム(中原区) 中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL. 754-4500 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館)		有料 連載50周年記念特別展「さいとう・たかを ゴルゴ13」用件を聞こうか…… (2F企画展示室1、アートギャラリー1・2・3) 9月22日(土)～11月30日(金) 観覧料:一般1,200円、65歳以上・大学生・高校生1,000円、中学生以下無料																														
		有料 ビッグコミ ック50周年展(2F企画展示室2) 11月10日(土)～2019年1月14日(月・祝) 観覧料:一般800円、65歳以上・大学生・高校生600円、中学生以下無料																														
高津市民館市民ギャラリー(高津区) 高津区溝口1-4-1 ノグチ2(12F) TEL. 814-7603 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		悠遊フォトクラブ写真展 11月2日(金)～7日(水)										作品展 高津陶 芸 11月9日(金)～14日(水)					平成30年度 高津区認可保育園作品展 11月16日(金)～21日(水)※19日休館					透水会展 11月23日(金・祝)～28日(水)					高津みずえ会 水彩画展 11月30日(金)～12月5日(水)					
宮前市民館市民ギャラリー(宮前区) 宮前区宮前平2-20-4 TEL. 888-3911 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		宮前みずえ会作品展 11月2日(金)～7日(水)										さぎぬま絵本同 好会 てづくり絵本 展 11月9日(金)～14日(水)					平成30年度文化祭作品展 11月16日(金)～21日(水)※19日休館					第17回みやまえ福祉 フェスティバル 11月25日(日)					宮前デッサン会 作品展 11月30日(金)～12月5日(水)					
多摩市民館市民ギャラリー(多摩区) 多摩区登戸1775-1(多摩区総合庁舎内) TEL. 935-3333 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		みんなで描こう会 水彩画展 11月2日(金)～7日(水)										フォトサークル無限 秋景 自然への想い 11月9日(金)～14日(水)					切り絵サークル夢切理人 切り絵展 11月16日(金)～21日(水)※19日休館					アトリエアサバ 葉の会絵画展 11月23日(金・祝)～28日(水)										
川崎市岡本太郎美術館(多摩区) 多摩区枳形7-1-5 TEL.900-9898 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館)		有料 企画展「イサム・ノグチと岡本太郎 –越境者たちの日本」展 10月6日(土)～2019年1月14日(月・祝) 観覧料:一般1,000円、高・大学生・65歳以上 800円、中学生以下無料																														
麻生市民館市民ギャラリー(麻生区) 麻生区万福寺1-5-2 TEL. 951-1300 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		墨華会展 11月2日(金)～7日(水)										ジョイパレット作 品展 11月9日(金)～14日(水)					木道会(かなの集い) 11月16日(金)～21日(水)※19日休館					パステルの会 六つの色で描く四季おりおりの花・果物・野菜・風景画展 11月23日(金・祝)～28日(水)					青の会山口台作品展 11月30日(金)～12月5日(水) ※12月3日休館					

(注)会期、時間等は各団体により、変更になることがありますので、ご確認の上ご来場ください。

川崎市市民ミュージアム〈中原区〉

企画展／9月22日(土)～11月30日(金)

連載50周年記念特別展

「さいとう・たかを ゴルゴ13」

用件を聞こうか……

劇画『ゴルゴ13』連載50周年記念の特別展。初公開の原画をはじめ、さいとう・プロダクションの「武器庫」から門外不出のモデルガンも披露し、幅広い年齢層のファンを魅了し続ける『ゴルゴ13』の世界を一堂に紹介します。

展覧会料金等

- 会場：2F企画展示室1・アートギャラリー1・2・3
- 観覧料：一般1,200円(960円)、65歳以上・大学生・高校生1,000円(800円)、中学生以下無料

※()内は20名以上の団体料金です。

※障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は無料。



「夜は消えず」©さいとう・たかを

企画展／11月10日(土)～2019年1月14日(月・祝)

ビッグコミック50周年展

マンガを子どものためのものから、大人も楽しめるものへ。「大人のためのコミック誌」という未踏の領域を開拓した雑誌『ビッグコミック』の創刊50周年を記念し、誌面を飾った名作の数々と半世紀の歴史を一望にします。

展覧会料金等

- 会場：2F企画展示室2
- 観覧料：一般800円(640円)、65歳以上・大学生・高校生600円(480円)、中学生以下無料

※()内は20名以上の団体料金です。

※障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は無料。



「BLUE GIANT」©石塚真一



「HOTEL」©石塚真一

〈関連イベント〉

■ベビーカーツアー

学芸員による展示解説付きの鑑賞ツアーです。ベビーカーでも安心して鑑賞できるようボランティアスタッフがサポートします。

- 日時：11月15日(木)11:45～(30分程度) ●会場：2F企画展示室2
- 定員：0歳～未就学児と保護者(6組) ※要観覧券

※ミュージアムHPより事前申込制(抽選)、11月9日(金)応募締切

■ギャラリーツアー

参加を希望される方は、当日直接会場へお越しください(※要観覧券)。

- 日時：11月18日(日) 12月8日(土) 各日14:00～
- 会場：2F企画展示室2

映画上映／1F映像ホール

新藤兼人特集

～開館30周年記念・所蔵作品名品集～

開館30周年を記念し、所蔵の独立プロ作品を取り上げます。この秋は、1950年に日本の独立プロダクションの先駆者である「近代映画協会」を設立し、自由な表現を追求しながら精力的に作品を作り続けた新藤兼人監督作より、計10作品を上映します。

上映日・料金等

- 上映日：10月6日(土)～12月9日(日)の土日 11:00～/14:00～
- ※ただし、10月27日(土)・28日(日)、11月3日(土・祝)・4日(日)・24日(土)・25日(日)は休映
- 料金：1プログラムにつき 一般600円/65歳以上・大学生・高校生500円/小中学生400円
- ※未就学児、障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は無料

●11月の上映作品

『原爆の子』、『母』、『裸の十九才』、『三文役者』、『一枚のハガキ』
※上映スケジュールはHPまたはお電話でお問い合わせください。

※その他、イベントの詳細は当館ホームページをご覧ください。

<http://www.kawasaki-museum.jp/event/>

中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL. 754-4500 FAX. 754-4533

【アクセス】武蔵小杉駅北口バス約10分、溝の口駅ノキティ側バス約20分

【開館時間】9:30～17:00(入館16:30まで)

【休館日】月曜日

<http://www.kawasaki-museum.jp/>

●ホームページ、Twitter、Facebook、Instagramにて情報発信中!



川崎市岡本太郎美術館〈多摩区〉

有料

企画展／2018年10月6日(土)～2019年1月14日(月・祝)

「イサム・ノグチと岡本太郎

ー越境者たちの日本」展

イサム・ノグチと岡本太郎は、1950年、日本アヴァンギャルド美術家クラブの主催により東中野のレストラン「モナミ」で開催されたイサム・ノグチの歓迎会において、初めて出会いました。彫刻家として世界的に活躍したイサム・ノグチと、青年期の10年間をパリで活躍しながらも大戦の為に日本に戻り引き裂かれ、日本の芸術界を異邦人としての眼で見ることができた岡本太郎は、それぞれに欧米で芸術家として活躍し始め、越境者として日本文化を見つめ、新たな表現活動を展開しました。同世代の二人の個性豊かな芸術家が日本の美術に触発されて制作した作品は、共に戦後の芸術界に大きな影響を及ぼしました。

本企画展は、イサム・ノグチと岡本太郎という個性の異なる二人の越境者の作品を通して、「日本」あるいは「日本美」とは何かについて再確認するための機会として開催します。

1954年4月1日イサム・ノグチと岡本太郎
北鎌倉夢境庵イサム・ノグチ「あかり」1953～
香川県立ミュージアム蔵
©The Noguchi Museum / ARS・JASPAR

展覧会料金等

- 料 金：一般1,000(800)円、高校・大学生・65歳以上800(640)円、中学生以下は無料
- ※()は20名以上の団体料金

休館日：月曜日(10月8日、12月24日、1月14日を除く)、10月10日、12月25日、12月29日～1月3日

〈企画展関連イベント〉

■記念講演会

「萬来舎とノグチ・ルーム」

1951年、慶應義塾大学に完成したノグチ・ルームが、新学舎建設のために、2003年に移転・解体された経緯について講演を行います。

●講師：渡部葉子

(慶應義塾大学アート・センター教授)

- 日時：11月4日(日)14:00～ ●定員：70名
- 料金：無料 ●会場：ガイダンスホール

「イサム・ノグチとパリ・ユネスコ庭園」(仮題)

1958年に完成した、イサム・ノグチによるパリ・ユネスコ庭園に関する新資料について講演を行います。

●講師：グラジナ・スベリテ

(ヴェネツィア・ペギー・グッゲンハイム・コレクション美術館 学芸員)

- 日時：11月25日(日)14:00～ ●会場：ガイダンスホール
- 定員：70名 ●料金：無料

〈その他イベント〉

◆はいはい&よちよち美術館ツアー

小さなお子さんご家族のためのツアーです。

太郎さんの作品を、お子さんと一緒にゆったりとお楽しみください。

- 日時：11月14日(水)10:30～11:30
- 対象：3か月～3才までのお子さんご家族の方
- 定員：10組 ●場所：常設展示室
- 料金：無料(保護者のみ要観覧料)
- 申込：電話受付(10月24日(水)10:00から受付開始・先着順)



※その他、イベントの詳細は当館ホームページをご覧ください。

<http://www.taromuseum.jp>

多摩区併形7-1-5 TEL.900-9898 FAX.900-9966

【アクセス】小田急線向ヶ丘遊園駅南口徒歩17分、北口バス約10分

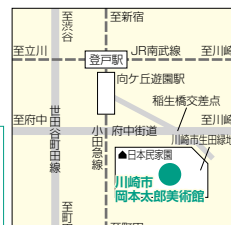
専修大学前下車徒歩6分

【開館時間】9:30～17:00(入館16:30まで)

【休館日】月曜日

<http://www.taromuseum.jp>

●ホームページ、Facebookにて情報発信中



アルテリオ小劇場

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺6-7-1
TEL.044-955-0107 FAX.044-959-2200 <http://kawasaki-ac.jp/>
【アクセス】小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分
お問合せ●川崎市アートセンター 044-955-0107



第66回川崎市アートセンター

しんゆり寄席

新進気鋭の落語家が毎月入れ替わり出演しているしんゆり寄席。11月公演はこの公演の世話人の一人・桂米多朗が出演。果たして米多朗は誰をゲストに迎え、どんな演目が披露されるのか?!お楽しみに!

2018年11月24日(土) 14:00開演 ※開場は開演の30分前

【出演者】桂米多朗 ほか

【チケット】一般2,000円、学生1,000円、小学生500円(全席自由・税込)

※未就学児童のご入場はご遠慮下さい。

★大旦那衆セット、プレミアムセット★

年間10回開催する「しんゆり寄席」で、いつでもご利用頂けるセット券。一人でも、何人一緒でもご利用可。

●プレミアムセット:4枚1組 6,000円 ●大旦那衆セット:10枚1組 12,000円

※有効期限は2019年3月公演まで。払い戻し不可。



桂米多朗

【お知らせ】仲入り後には演者からのプレゼントが当たる抽選会を開催。

しんゆりジャズスクエアvol.36

BIG3 GUITARISTS

日本を代表するジャズギターの名手が勢ぞろい!ジャズギターの魅力を名曲とともに。

〈予定曲〉「サマータイム」「テキーラ」「酒と薔薇の日々」
「オレオ」「オールザシングスユアー」「枯葉」
など



布川俊樹



竹中俊二



田辺充邦



佐瀬 正



吉岡大輔

2018年11月23日(金・祝) 19:00開演

※開場は開演の30分前

【出演者】布川俊樹(G)、竹中俊二(G)、田辺充邦(G)、佐瀬 正(B)、吉岡大輔(Ds)

【チケット】一般2,500円、2枚セット券4,500円、4枚セット券8,500円(全席自由・税込)

川崎市アートセンター小劇場×映像館コラボレーション企画vol.1

光であそぼう!—江戸の写し絵の世界—

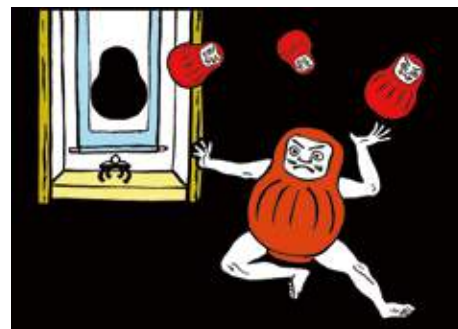
「江戸写し絵」社中が贈る写し絵で描くものがたり。江戸時代にオランダから長崎の出島に伝わったマジックランタンに、日本の話芸と楽曲が加わって生まれた日本独自の芸能「写し絵」。動く絵物語であり、映像の原点ともなった文化で、庶民の娯楽として広く愛された。各日異なるプログラムで2作品の上演に加えバックステージツアー、さらにはワークショップ(応募者のみ。15組先着。別途参加費1,500円。)も楽しむことができ、多角的に写し絵の仕組みを紐解く。※詳細はお問合せください。

2018年12月1日(土) 13:00開演、2日(日) 11:00開演

※開場は開演の15分前

【出演者】「江戸写し絵」社中

【チケット】おとな1,500円、こども1,000円、おやこペア2,000円(全席自由・税込)



チケット取扱い

川崎市アートセンター

[TEL] 044-959-2255(9:00~19:30、土日祝・原則毎月第二月曜除く)

[WEB] <http://kawasaki-ac.jp/th/>

[窓口] 9:00~19:30(原則毎月第二月曜除く)

※「しんゆりジャズスクエア」:

電話予約は〈エリアブレイク 044-954-9990(月~金、10:00~18:00)〉で取扱い
セット券は電話予約と窓口でのみ取扱い。

※「しんゆり寄席」:学生チケットは窓口でのみ取扱い。要学生証提示。

セット券は窓口と電話予約のみ取扱い。

ベルイマン生誕100年 映画祭 Vol.1

スウェーデンが生んだ“20世紀最大の巨匠”イングマル・ベルイマン(1918-2007)。
デジタル・リマスター版で甦った厳選の傑作13本をVol.1、Vol.2に分けて上映します。
※Vol.2は12/22(土)より上映予定。



©1982 AB Svensk Filmindustri, Svenska Filminstitutet. All Rights Reserved

ファニーとアレクサンデル

10.27(土)、10.28(日)、

11.6(火)~11.9(金)

1982年|スウェーデン、仏、西独|カラー|ビスタ|

5h11(途中休憩あり)|DCP

撮影:スヴェン・ニクヴィスト

出演:ベルニラ・アルヴィー

パッティル・ギューヴェ

アラ・エドヴァル

エヴァ・フレリング

グン・ヴォールグレン

劇場を経営する一族の2年間を、幼い兄妹の視点から描く、華やかな超大作。波瀾万丈な物語の醍醐味に満ちたベルイマンの自伝的作品で、広く愛された名作。



©1978 AB Svensk Filmindustri

秋のソナタ

※10月末で国内の上映権が切れるため
日本最終上映となります。

10.27(土)、10.28(日)

1978年|西独|カラー|ビスタ|1h32|

DCP

撮影:スヴェン・ニクヴィスト

出演:イングリッド・バーグマン

リヴ・ウルマン

イングリッド・バーグマンの遺作となった名作。ピアニストとして華やかな人生を歩んできた女が、牧師の妻となった娘と7年ぶりに再会した一夜の出来事を描く。



©1973 AB SVENSK FILMINDUSTRI

叫びとささやき

10.27(土)、11.6(火)~11.9(金)

1973年|スウェーデン|カラー|

ビスタ|1h31|

DCP

撮影:スヴェン・ニクヴィスト

出演:リヴ・ウルマン

イングリッド・チェーリン

ハリエット・アンデション

カリ・シルヴァン

19世紀末スウェーデンの邸宅に召使いとひっそりと暮らす女主人。病の床の彼女のもとにふたりの妹が駆けつける。4人の女の愛と性を苛烈に描く傑作中の傑作。



©1955 AB Svensk Filmindustri

夏の夜は三たび微笑む

11.7(水)、11.8(木)

1955年|スウェーデン|白黒|

スタンダード|

1h50|DCP

撮影:グンナール・フィッセル

出演:グンナール・ビョーンストランド

ウーラ・ヤコブソン

ハリエット・アンデション

スウェーデンの白夜の夏を舞台に、とある邸宅に集まった男女の恋のさや当てが展開する。出世作となったオリジナル脚本によるロマンチック・コメディ。



©1951 AB Svensk Filmindustri

夏の遊び

11.6(火)、11.9(金)

1951年|スウェーデン|白黒|

スタンダード|1h38|DCP

撮影:グンナール・フィッセル

出演:マイ・プリット・ニルソン

ビリエル・マルムステーン

求婚されたバレリーナが、バレエ学校の生徒だった若き日の夏を回想する。海辺の別荘で展開する初恋の物語を、きらめく光の中で描いた瑞々しい初期作品。

太陽の塔

11.10(土)~11.23(金)祝

2018年|日本|カラー|シネスコ|1h52|DCP

監督:関根光才 出演:赤坂憲雄、安藤礼二、糸井重里、植田昌吾、大杉浩司

1970年、高度経済成長に沸く日本で、「人類の進歩と調和」というテーマで開かれた大阪万博。そこでひととき異彩を放っていたのが、前衛芸術家・岡本太郎が制作した太陽の塔だった。いったい何のためにこの塔をつくったのか。総勢29名のインタビューにより、芸術論だけでなく、社会学・考古学・民俗学・哲学の結晶としての岡本太郎が語られ、「太陽の塔」に込められたメッセージに迫るドキュメンタリー。



©2018 映画「太陽の塔」製作委員会

顔たち、ところどころ

11.10(土)~11.23(金)祝

2017年|フランス|カラー|ビスタ|1h29|DCP

監督・脚本・ナレーション・出演:アニエス・ヴァルダ、JR

「ヌーヴェルヴァーグの祖母」とも呼ばれる女性映画監督の先駆で、カンヌ、アカデミー両賞で名誉賞を受賞しているアニエス・ヴァルダと、大都市から紛争地帯、様々な場所で、そこに住む人々の大きなポートレートを貼り出すアートプロジェクトで知られるアーティストJR(ジェイアール)。87歳と33歳の二人が、フランスの田舎街を旅しながら、人々とふれあい、作品を一緒に作り出していくドキュメンタリー。



©Agnès Varda - JR - Ciné-Tamaris - Social Animals 2016.

愛と法

11.10(土)~11.23(金)祝

2016年|日本、イギリス、フランス|カラー|ビスタ|1h34|DCP

監督:戸田ひかる 出演:南和行、吉田昌史、南ヤエ、カズマ、ろくでなし子、辻谷博子

大阪で法律事務所を営む弁護士の男性カップルを追ったドキュメンタリー。弁護士のカズとフミはプライベートでもパートナーの弁護士夫婦(ふうふ)。セクシュアル・マイノリティ、養護が必要な子どもたち、戸籍を持たずにいる人など、社会的に立場が弱いとされる人々からの様々な依頼を進んで受け入れる二人のもとに、居場所をなくした少年がやってきて、三人の新しい生活が始まる。



©Nanmori Films

ペギー・グッゲンハイム アートに恋した大富豪

11.10(土)~11.23(金)祝

2015年|アメリカ|カラー&白黒|ビスタ|1h36|DCP

監督:リサ・インモルディーノ・ヴリーランド

出演:ペギー・グッゲンハイム、ジャクリン・ボグラッド・ウェルド、ラリー・ガゴシアン、ロバート・デ・ニーロ

水の都・ベネチアにある世界最大級のコレクションを有する美術館「ペギー・グッゲンハイム・コレクション」。

NYのユダヤ系大富豪の家に生まれ、マルセル・デュシャンにアートを学び、マックス・エルンストと結婚し、ジャクソン・ポロックを逸早く見いだした20世紀のミューズ、ペギー・グッゲンハイム。現代アートとともに生きた女性の痛快な生涯を綴るドキュメンタリー。



©Rolloff Beny / Courtesy of National Archives of Canada

チューリップ・フィーバー 肖像画に秘めた愛

11.17(土)~11.30(金)

2017年|アメリカ、イギリス|カラー|シネスコ|1h45|DCP|R15+

監督:ジャスティン・チャドウィック

出演:アリシア・ヴァンキャンデル、デイン・デハーン、ジュディ・デンチ、クリストフ・ワルツ、ジャック・オコンネル

17世紀のオランダ。チューリップの球根ひとつが邸宅一軒分の値段で取引されていた“チューリップ・バブル”の時代を背景に、親子ほど離れた裕福な商人のもとへ嫁いだ孤児のソフィアと、夫婦の肖像画を依頼されたヤンの許されざる恋に落ちる姿を描く。「フェルメールの絵画の世界を小説にしたい」という原作者デボラ・モガーの思いから生まれたベストセラー小説の映画化。



©2017 TULIP FEVER FILMS LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

斬、

11.24(土)~12.21(金)

2018年|日本|カラー|ビスタ|1h20|DCP

監督、脚本、撮影、編集、製作:塚本晋也 出演:池松壮亮、蒼井優、中村達也、前田隆成、塚本晋也

『野火』で戦争の恐怖をあぶりだし高く評価された塚本晋也が挑む初の時代劇。250年にわたり平和が続いてきた国内が、開国するか否かで大きく揺れ動いた幕末の江戸近郊の村を舞台に、文武両道の若い浪人と彼が逗留する農家の娘が、無法浪人集団と対峙する。人を斬ることに躊躇する浪人を通して、刀と刀の勝負をリアルに描き出す野心作。



©SHINYA TSUKAMOTO / KAIJU THEATER

ニューヨーク、ジャクソンハイツへようこそ

11.24(土)~11.30(金)

2015年|アメリカ、フランス|カラー|ビスタ|3h09|DCP

監督・録音・編集・製作:フレデリック・ワイズマン

世界で最も偉大なドキュメンタリー作家と称される巨匠フレデリック・ワイズマンの記念すべき40作目。世界中からの移民とその子孫が暮らし、167もの言語が話され、マイノリティが集まり、エスニックな味と多様な音楽があふれる町ジャクソンハイツを、長年にわたってアメリカを観察し、記録し続けてきたワイズマン監督が徹底して見つめる“町ドキュメンタリー”の傑作。



©2015 Moulins Films LLC All Rights Reserved

川崎市アートセンター

〒215-0004 神奈川県 川崎市 麻生区万福寺6-7-1

Tel. 044-955-0107 Fax. 044-959-2200 info@kawasaki-ac.jp http://kawasaki-ac.jp/

小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分

チケットは当日9:00より受付にて販売します。(自由席／整理番号順入場)

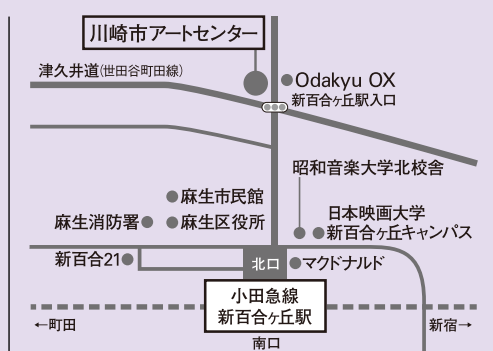
◆アルテリオ・シネマ会員募集中! いつでもお得なシネマ会員価格でみられます!

●入会金500円 ●年会費1000円(1年更新制)

●ポイント5つで招待券1枚プレゼント!

●同伴者割引:1名様まで、一般料金1800円~1300円の作品は一律1200円に割引!

ご入会手続きは受付でのみ承っております。



毎月

第3火曜日
のお楽しみ
2018

ラゾーナ寄席

第77回

2018年

11月20日(火) 17:30受付開始/18:00開場/18:30開演

■会 場…ラゾーナ川崎プラザソル

〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F

■出 演…林家彦いち・初音家左橋・柳亭市江・林家彦星

■入場料…全席自由2,000円・25歳以下1,000円

(終演後のおたのしみ“交流会”…希望者のみ・参加費1,500円)

■予約・お問合せ／ラゾーナ川崎プラザソル

電話 044-874-8501 FAX 044-520-9151

E-mail: info@plazasol.jp http://www.plazasol.jp



林家彦いち

第115回
川崎市定期能

～観世流鍬仙会～

第1部

◆狂言「長 光」野村 万蔵(和泉流)

◆能「松 風」浅見 真州(観世流鍬仙会)

第2部

◆仕舞「玉之段」鶴澤 光(観世流鍬仙会)

◆能「藤 戸」鶴澤 久(観世流鍬仙会)



Photo:「松風」鶴澤 久 撮影:前島吉裕

平成30年12月16日(日) 第1部 13:00開演(12:30開場) 第2部 15:30開演(15:00開場)

会 場●川崎能楽堂 入場料●各部:4,000円 U25:3,000円(全席指定)

*U25:脇正面、中正面エリアのみ選択可。25歳以下の方。購入時に生年月日のわかる身分証明書をお持ちください。

チケット発売●平成30年11月7日(水)午前9時より川崎能楽堂窓口にて発売(先着順)

*残券がある場合は、発売日正午より電話・ホームページでも販売いたします。窓口完売の際は電話・ホームページでの受付はいたしません。

チケット取扱・お問合せ●川崎能楽堂 TEL.044-222-7995 川崎市川崎区日進町1-37

受付時間●窓口・電話 9:00～17:00

*開演後はご入場いただけない場合がございます。また、出演者等変更になる場合がございますので予めご了承ください。
なお、ご購入いただいたチケットのキャンセルや変更はできません。

松風と藤戸を面白く見るための事前講座

日時●平成30年12月1日(土)14:00～16:00 講師●鶴澤 久(観世流鍬仙会・川崎市市民文化大使)

会場●ミュージア川崎シンフォニーホール 企画展示室 三浦 裕子(武蔵野大学教授・同大学能楽資料研究センター長)

(川崎駅西口から徒歩3分)

料金●無料*第115回川崎市定期能チケットご購入者対象

主催●(公財)川崎市文化財団 〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310 ミュージア川崎セントラルタワー5階 TEL.044-272-7366/FAX.044-544-9647

公益財団法人 川崎市文化財団

〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310 ミュージア川崎セントラルタワー5階
TEL.044(272)7366 FAX.044(544)9647 http://www.kbz.or.jp
平成30年11月1日発行

かわさきアートニュースの制作には、川崎市文化振興基金が活用されています。

川崎市文化財団 検索

●印刷・製本／八幡印刷(株) TEL.044-542-2311